

パブリックコメントの実施結果について

平成27年12月28日
小城市総務部企画政策課

小城市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）への意見を募集した結果について、公表します。

1. 募集案件

- ・小城市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）

2. パブリックコメント実施期間

平成27年11月20日（金）～平成27年12月4日（金）

3. 提出された意見（1人）（意見は要約しています）

皆さんから寄せられたご意見	意見に対する市の考え方
<p>・「小城市に住み続けたくない」という人のうち17%強が「地域行事等が面倒」としてのことには言及がないのが気になりました。行政で多少は負担し、出事を減らすことを考えないと、若い住民の定着は難しいかと思えます。</p>	<p>・お住まいの行政区における地域行事や区費、出不足金等に関しましては、当該行政区の総会や規約等により決定しているもので、あくまでも地域住民の方々の自発的な合意に基づき運営されております。</p> <p>よって、自分たちの地域の行事等については、そこで暮らす地域住民の方々で行っていただくものと認識しております。</p> <p>しかし、地方創生の観点から地域行事等が若い住民の定着への妨げになってないか。妨げになっているのであれば市としてどのようなかわり方ができるのかなど施策を推進する視点として参考にさせていただきます。</p>

<p>・旧来の住宅地の空き地が売れにくい一方で、分譲地が公表前から売り切れていくということはどういうことなのか、今一度の検討が必要ではないでしょうか。</p> <p>・砥川地区や三里地区で行っていたような持家補助については、今一度実施をするべきかと思います。あるいは、小城地区でのファミリー向けアパート建築についても、奨励金や税金の軽減などを検討しても良いと思います。</p> <p>・医療費補助など子育て支援についての施策があると思いますが、小城市を選んでもらうために近隣地域とどう差別化を図りますか？</p>	<p>・分譲地の販売方法については、宅地建物販売業者の経営方針・経営努力による結果ではないかと受け止めています。</p> <p>市街地の空洞化等を抑えるためにも、空き家等の活用も含めて検討を進めているところです。</p> <p>・「小城市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、若者・子育て世代等が小城市に住みたい、住み続けたいと思ってもらえるように、定住促進の施策の検討を進めているところです。</p> <p>・子育て支援に限らず、福祉サービスに地域差があることは好ましくないと思っております。個々の事業を比較すると他市に比べて劣っている部分もあるため、まずはそこから解消すべきと認識しております。今後は、子育て会議等で子育て関係者のみなさんの意見を聞いて特色あるサービスを提供できるよう努めてまいりたいと考えております。</p>
--	---

ご意見ありがとうございました。